

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年1月22日

上場会社名 株式会社スーパーツール 上場取引所 大
 コード番号 5990 URL <http://www.supertool.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉川 明
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 篠畑 雅光 TEL 072 (236) 5521
 四半期報告書提出予定日 平成25年1月30日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年3月16日～平成24年12月15日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	3,904	4.3	441	13.8	360	33.6	191	39.2
24年3月期第3四半期	3,741	—	387	—	269	—	137	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 168百万円 (△47.0%) 24年3月期第3四半期 318百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	24.26	—
24年3月期第3四半期	17.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	9,211	5,432	59.0
24年3月期	9,362	5,370	57.2

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 5,432百万円 24年3月期 5,355百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
25年3月期	—	6.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年3月16日～平成25年3月15日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,600	16.1	620	29.0	510	41.5	300	54.7	37.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 — 社（社名） — 、除外 — 社（社名） —

（注）1. 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の移動の有無となります。

2. 前連結会計年度において、連結子会社であった世派機械工具貿易（上海）有限公司については、事業活動を終了し、清算手続を開始したことに伴い重要性がなくなったため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	8,245,480株	24年3月期	8,245,480株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	346,700株	24年3月期	345,080株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	7,899,102株	24年3月期3Q	7,900,544株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社グループが現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、過度な円高や世界経済の減速を背景として、回復の足取りが鈍くなりましたものの、概ね堅調に推移いたしました。一方、欧米財政問題の長期化や新興国の景気減速が鮮明となったことにより、世界景気の先行きには不透明感が拭えない状況が続きました。

このような状況のなか、当社グループでは、金属製品事業につきましては、より市場価値の高い製品開発と既存製品の刷新によりラインナップの充実を図るとともに、従来より取り組んでおりますコスト削減活動を全社的に進めております。また、多くのユーザー様のお役に立つことができるよう、製販一体体制を強化するとともに、提案力の強化と生産性の向上に努めてまいりました。

一方、環境関連事業につきましては、輸出の減速により民間企業の設備投資意欲が停滞するなか、小口需要層を中心に省エネ施策の提案を継続し、環境意識の浸透とともに増加するニーズに対し、積極的な営業活動を推し進めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,904百万円（前年同四半期比162百万円増、4.3%増）、営業利益は441百万円（前年同四半期比53百万円増、13.8%増）、経常利益は360百万円（前年同四半期比90百万円増、33.6%増）、四半期純利益は191百万円（前年同四半期比53百万円増、39.2%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は次の通りであります。

(金属製品事業)

作業工具類は、国内販売ではインフラ関連の補修・改修及び耐震化需要に伴い、土木関連製品が堅調に推移するとともに、新製品が順調に売上を伸ばしました。一方、海外市場では新興経済圏の減速に伴う設備投資意欲の冷え込みにより、受注は鈍化いたしました。

産業用機器では、自動車産業等の国内における主要産業の設備投資は停滞いたしました。震災復興関連及び半導体・デバイス製造装置産業からの需要により、売上は順調に推移いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は3,457百万円（前年同四半期比176百万円増、5.4%増）、セグメント利益は702百万円（前年同四半期比63百万円増、10.0%増）となりました。

(環境関連事業)

再生可能エネルギー発電施設の規模拡大により導入案件は増加しており、需要者の個別状況に応じて提案の具体化を進めるとともに、新規受注の取り込みに注力してまいりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は437百万円（前年同四半期比18百万円減、4.0%減）、セグメント損失は、前年同四半期に比べ3百万円減少の20百万円となりました。

(その他)

当セグメントは、不動産賃貸事業の業績を表示しております。

当セグメントの売上高は8百万円（前年同四半期と同額）、セグメント利益は3百万円（前年同四半期比0百万円増、9.5%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ151百万円（1.6%）減少し、9,211百万円となりました。

主な増減は、現金及び預金の減少396百万円、投資有価証券の減少36百万円、仕掛品の減少34百万円、前渡金の増加128百万円、商品及び製品の増加122百万円、受取手形及び売掛金の増加80百万円等であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ212百万円（5.3%）減少し、3,779百万円となりました。

主な増減は、未払法人税等の減少104百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少89百万円、短期借入金の減少20百万円、支払手形及び買掛金の減少11百万円等であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ61百万円（1.1%）増加し、5,432百万円となりました。

主な増減は、四半期純利益の計上による増加191百万円、配当金の支払による減少94百万円、その他有価証券評価差額金の減少19百万円、少数株主持分の減少14百万円等であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年10月17日付「平成25年3月期第2四半期決算短信[日本基準] (連結)」にて公表いたしました業績予想に変更はありません。

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月15日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月15日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,442,986	1,046,873
受取手形及び売掛金	573,915	654,793
商品及び製品	1,155,319	1,277,321
仕掛品	531,365	496,668
原材料及び貯蔵品	197,300	216,294
前渡金	131,178	260,129
繰延税金資産	52,798	34,668
その他	15,751	7,222
貸倒引当金	△4,638	△4,761
流動資産合計	4,095,976	3,989,210
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	316,090	311,725
機械装置及び運搬具（純額）	201,764	192,934
土地	4,171,371	4,171,371
その他（純額）	67,256	80,060
有形固定資産合計	4,756,483	4,756,091
無形固定資産	11,150	11,656
投資その他の資産		
投資有価証券	379,848	343,299
繰延税金資産	65,003	79,332
その他	67,842	44,118
貸倒引当金	△13,353	△11,775
投資その他の資産合計	499,340	454,975
固定資産合計	5,266,974	5,222,724
資産合計	9,362,951	9,211,934
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	327,680	316,367
短期借入金	610,000	590,000
1年内返済予定の長期借入金	495,946	405,962
未払金	196,632	227,565
未払法人税等	148,982	44,160
賞与引当金	43,200	10,200
その他	24,411	24,721
流動負債合計	1,846,852	1,618,976
固定負債		
長期借入金	773,906	777,794
再評価に係る繰延税金負債	1,190,288	1,190,288
退職給付引当金	106,181	117,471
その他	75,099	75,099
固定負債合計	2,145,474	2,160,652
負債合計	3,992,327	3,779,629

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月15日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月15日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,463,274	1,463,274
資本剰余金	342,076	342,076
利益剰余金	1,773,019	1,868,026
自己株式	△79,259	△79,727
株主資本合計	3,499,110	3,593,649
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,972	13,158
土地再評価差額金	1,825,497	1,825,497
為替換算調整勘定	△1,810	—
その他の包括利益累計額合計	1,856,659	1,838,655
少数株主持分	14,853	—
純資産合計	5,370,624	5,432,304
負債純資産合計	9,362,951	9,211,934

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年3月16日 至 平成23年12月15日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年3月16日 至 平成24年12月15日)
売上高	3,741,430	3,904,164
売上原価	2,577,210	2,652,613
売上総利益	1,164,219	1,251,551
販売費及び一般管理費	776,301	809,923
営業利益	387,918	441,628
営業外収益		
受取利息	4,130	201
受取配当金	5,019	5,124
その他	3,859	2,330
営業外収益合計	13,009	7,656
営業外費用		
支払利息	21,714	14,894
売上割引	52,288	59,632
為替差損	47,918	5,197
その他	9,188	8,969
営業外費用合計	131,110	88,693
経常利益	269,817	360,590
特別利益		
投資有価証券売却益	5,145	—
特別利益合計	5,145	—
特別損失		
固定資産除売却損	355	8,858
投資有価証券評価損	400	—
特別損失合計	755	8,858
税金等調整前四半期純利益	274,207	351,731
法人税、住民税及び事業税	126,240	148,352
法人税等調整額	21,091	14,773
法人税等合計	147,332	163,125
少数株主損益調整前四半期純利益	126,875	188,606
少数株主損失(△)	△10,774	△3,002
四半期純利益	137,649	191,608

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月16日 至平成23年12月15日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月16日 至平成24年12月15日)
少数株主損益調整前四半期純利益	126,875	188,606
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25,110	△19,814
為替換算調整勘定	△2,428	—
土地再評価差額金	168,991	—
その他の包括利益合計	191,673	△19,814
四半期包括利益	318,548	168,791
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	329,323	171,794
少数株主に係る四半期包括利益	△10,774	△3,002

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成23年3月16日 至 平成23年12月15日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	金属製品 事業	環境関連 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,281,422	451,368	3,732,790	8,640	3,741,430
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	4,291	4,291	—	4,291
計	3,281,422	455,660	3,737,082	8,640	3,745,722
セグメント利益又は損失(△)	638,545	△24,295	614,250	3,566	617,817

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	614,250
「その他」の区分の利益	3,566
セグメント間取引消去	670
全社費用(注)	△230,568
四半期連結損益計算書の営業利益	387,918

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成24年3月16日 至平成24年12月15日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	金属製品 事業	環境関連 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,457,896	437,627	3,895,524	8,640	3,904,164	—	3,904,164
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,457,896	437,627	3,895,524	8,640	3,904,164	—	3,904,164
セグメント利益又は損失（△）	702,399	△20,935	681,464	3,905	685,370	△243,742	441,628

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失（△）の調整額△243,742千円には、セグメント間取引消去4,528千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用△248,270千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。